



ARTIST  
INTERVIEW

FIONA  
TAN

フィオナ・タン

園村恵子=聞き手 井上佐由紀=会場撮影  
Interview by Keiko Okamura Photo by Sayuki Inoue



**P177-178\_ライズ・アンド・フォール 2009**

HD インスタレーション 21分 作家蔵 © Fiona Tan  
 Courtesy of the artist and Wako Works of Art, Tokyo  
 2つのスクリーンを用いたインスタレーション作品。朝ベッドで目を覚ます、メイクをする、森を歩くなど、年老いた女性と若い女性、2人の日常の断片を覗き見るようなシーンの間に、ナイアガラ滝の音が立てて流れる様子が挟み込まれる。2人の女性のイメージには重なる部分が多く、同一人物とも思わせるが、その答えは与えられない。見る者は、否応なく流れる時間の残酷さや、人の記憶の儚さ・あいまいさについて問いかげられる。

**P179\_記憶のうつろい 2007**

HD インスタレーション 24分35秒 © Fiona Tan  
 Courtesy of the artist and Wako Works of Art, Tokyo  
 イギリス・ブライトンにあるロイヤルバビロンという19世紀初頭の建物が舞台。ひとりの年老いた男性が、不完全で断片的な記憶や身につけた習慣を頼りに、物思いに耽った様子で、西洋的な建築様式の中に東洋趣味の調度品が融合した建物の内部をさまよい歩き、自分自身を取り戻そうとする様子を描く。









**フィオナ・タン | エリブシス**

8月3日～11月10日、金沢21世紀美術館にて開催。事実とフィクションの間を行き来する詩的で静謐な物語を紡ぎ出す、フィオナ・タンの個展。初期の代表作で、金沢21世紀美術館所蔵の《リンネの花時計》(1998)のほか、映像、写真、インスタレーションといった、近作7点を展示する。

10:00～18:00(金土～20:00) 月休(祝の場合、翌平日休)

石川県金沢市広坂1-2-1

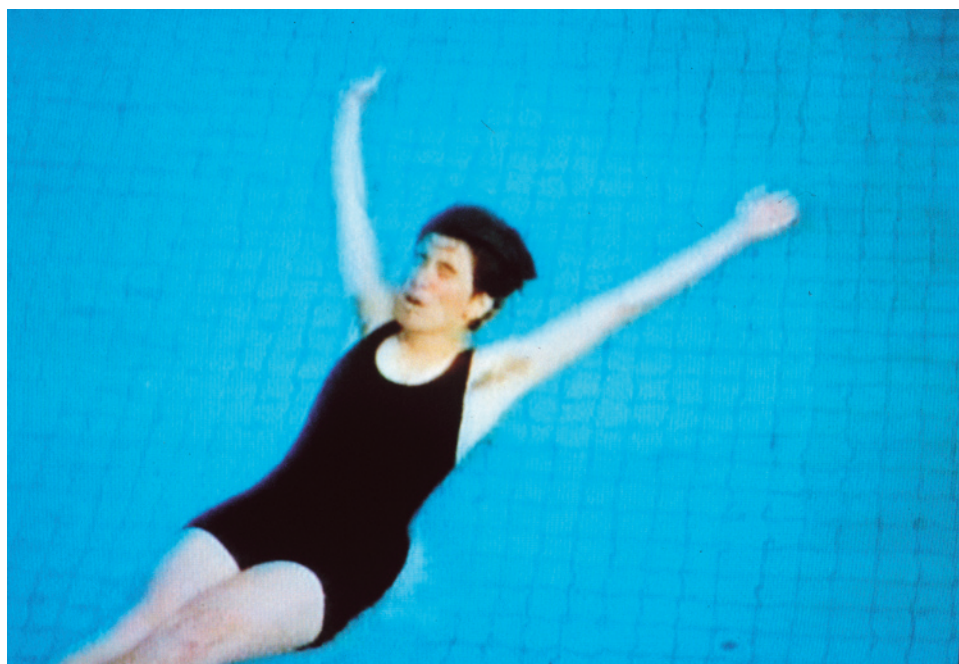
Tel.076-220-2800

<http://www.kanazawa21.jp>

**P180-181\_セブン 2011**

デジタル・インスタレーション 7時間 © Fiona Tan  
Courtesy of the artist and Wako Works of Art, Tokyo  
シェイクスピアの「人生の7段階」になぞり、生後5か月の女の子、12歳の男の子、40歳の男性、77歳の女性など、年代の違う7人の人々の肖像を映した全7時間にわたる長大な映像インスタレーション作品。オランダに住む市井の人々の、ある1日のポートレート映像からは、時間の経過を感じさせる。







**P182\_183中\_リンネの花時計 1998**

ビデオ 17分 金沢21世紀美術館蔵

Courtesy of the artist and Wako Works of Arts, Tokyo  
 博物学者カール・フォン・リンネ(1707-78)が考案した、花の1日における開花・閉花の時間を利用した時計「リンネの花時計」を参照した、初期の映像作品。時間とともに花が開き閉じる様子や、プールへの飛び込み、恋人がフィオナ・タンを撮影した映像などがコラージュされ、有限な命と叶うことのない永遠への憧れが瑞々しく伝えられる。



**P183上\_人々の声 東京 2007**

写真、インスタレーション © Fiona Tan

Courtesy of the artist and Wako Works of Art, Tokyo  
 異なる大陸の5つの国(ノルウェー、シドニー、東京、スイス、ロンドン)でのアマチュアによる家族写真を集めた、写真によるインスタレーション。約300点にのぼる写真が、同じ木製の額に録取られたタブローのように等価に並べられる。この展覧会では、東京とシドニーの写真が展示された。

**P183下\_ブレندانの島 2010**

サウンドピース 6分52秒

Courtesy of the artist and Wako Works of Art, Tokyo  
 太古の昔に綴られた詩に記録されていた、6世紀のアイルランドにいた修道士ブレندانの冒険物語を美しく語った音のみの作品。地上の楽園である島を求めて危険な海の旅を続けるブレندان。流れ出る言葉のリズムに身をまかせ、物語の世界に浸っているうちに、時代や場所を超えて海の物語へと引き込まれる。

